



＜安全運転を進化させる保険＞

当社テレマティクス自動車保険に「運転技能向上トレーニング・アプリ」の提供を開始

2020年1月24日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉 恭三、以下「当社」）は、国立大学法人東北大学（以下「東北大学」）加齢医学研究所および株式会社仙台放送（以下「仙台放送」）と連携し、当社が提供するテレマティクス^{*1}自動車保険をご契約のお客さま向けに、2020年1月27日よりスマートフォン版の「運転技能向上トレーニング・アプリ」^{*2}の提供を開始します。

※1 テレマティクスとは、「テレコミュニケーション」と「インフォマティクス」を組み合わせ合わせた造語で、カーナビやGPS等の車載器と移動体通信システムを利用して、様々な情報やサービスを提供する仕組みです。

※2 東北大学加齢医学研究所と仙台放送が産学連携により共同開発したトレーニング・アプリで、東北大学加齢医学研究所・川島隆太教授による脳科学研究の成果と仙台放送が開発・放送している脳のトレーニング番組『川島隆太教授のテレビいきいき脳体操』の知見から開発されました（特許 6284171 号）。実際の運転行為や疑似運転行為（シミュレーター等）を伴わない日常的な認知トレーニングにより、運転技能の維持・向上を目指すものです。

※スマートフォンでご利用いただけます



1. 背景

当社は、「事故を起こさないお客さま」にも付加価値が提供できるよう、お客さまの安全運転スコアに応じて保険料を割り引く「テレマティクス自動車保険」の推進に取り組んでいます。また、誰もが安全・安心に生活できる地域社会づくりに貢献することを目指し、東北大学加齢医学研究所および仙台放送と連携し、「テレマティクス自動車保険×運転技能向上トレーニング」に関する協業取組^{*3}をすすめています。

今般、当社のテレマティクス自動車保険に加入しているお客さまに対して保険料割引というインセンティブに加え、運転技能を維持・向上するための「運転技能向上トレーニング・アプリ」をスマートフォンで提供することとしました。従来のテレビ接続型ゲーム機を使用したサービスに加え、スマートフォンに対応させることで、より日常生活とトレーニングとの継ぎ目をなくし、さらに幅広いお客さまへ簡便にご利用いただけるようになりました。

※3 参考：2019年9月13日ニュースリリース「テレマティクス自動車保険×運転技能向上トレーニングに関する協業開始」

2. 「運転技能向上トレーニング・アプリ」について

(1) 概要

- ・脳トレゲームで有名な東北大学加齢医学研究所・川島隆太教授が監修した世界初の「運転技能向上トレーニング」をWebゲーム化してスマートフォン版として提供します。
- ・収録ゲームは当初6種類（運転技能ゲーム3種類、脳トレゲーム3種類）



(2) 対象契約

「タフ・つながるクルマの保険」「タフ・見守るクルマの保険プラス」をご契約のお客さま※4※5

※4 既に契約済のお客さまもご利用いただけます。

※5 各商品の専用スマートフォンアプリ（インストール、およびメールアドレス等の登録が必要）より利用可能です。

(3) リリース日

2020年1月27日(月)

3. 今後の展開

当社は、今後も、地域の安全対策と地域の活性化を目的として、「運転技能向上トレーニング」の普及啓発に取り組んでいくとともに、テレマティクス自動車保険のパイオニアとして、「事故を起こさない保険」の開発・提供を通じ、「お客さまへ安全・安心なカーライフの提供」、「安全・安心なクルマ社会の実現」および、お客さまの交通事故の低減に貢献していきます。

また、本アプリは、専用ゲーム機とテレビモニターを用いた体験も可能です。今後、当社と包括連携協定を締結している地域自治体等でのセミナーやサポカー体験会等の中でも活用し、高齢者交通事故防止に向けた啓発取り組みを推進していきます。

■地域自治体セミナーやサポカー体験会等でのイベント風景



以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントで持続可能な社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



主に貢献しているSDGs目標

